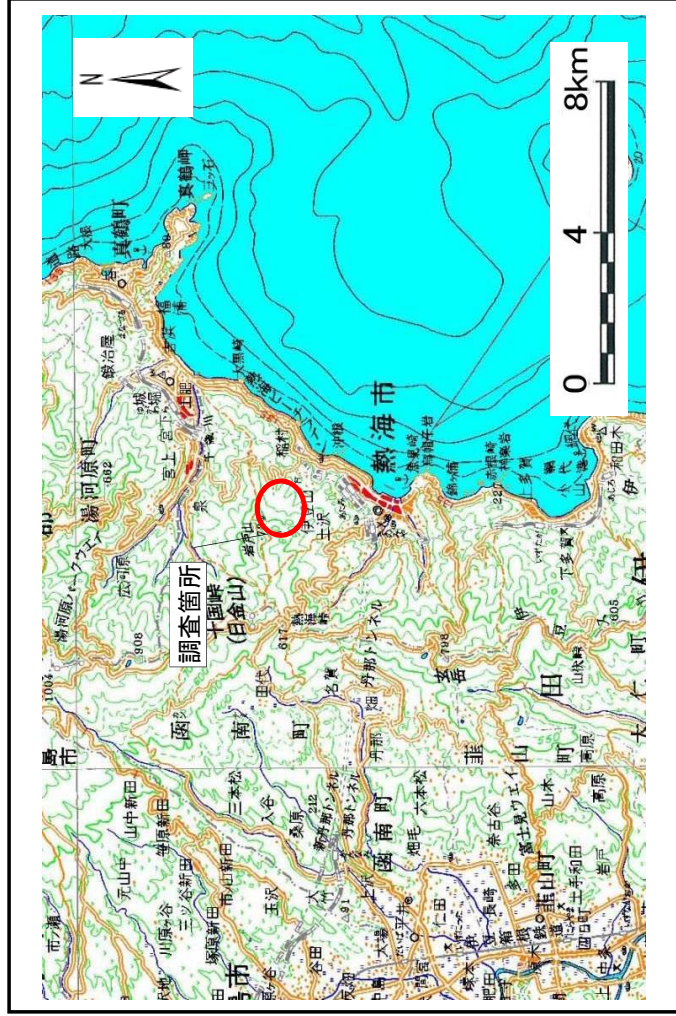
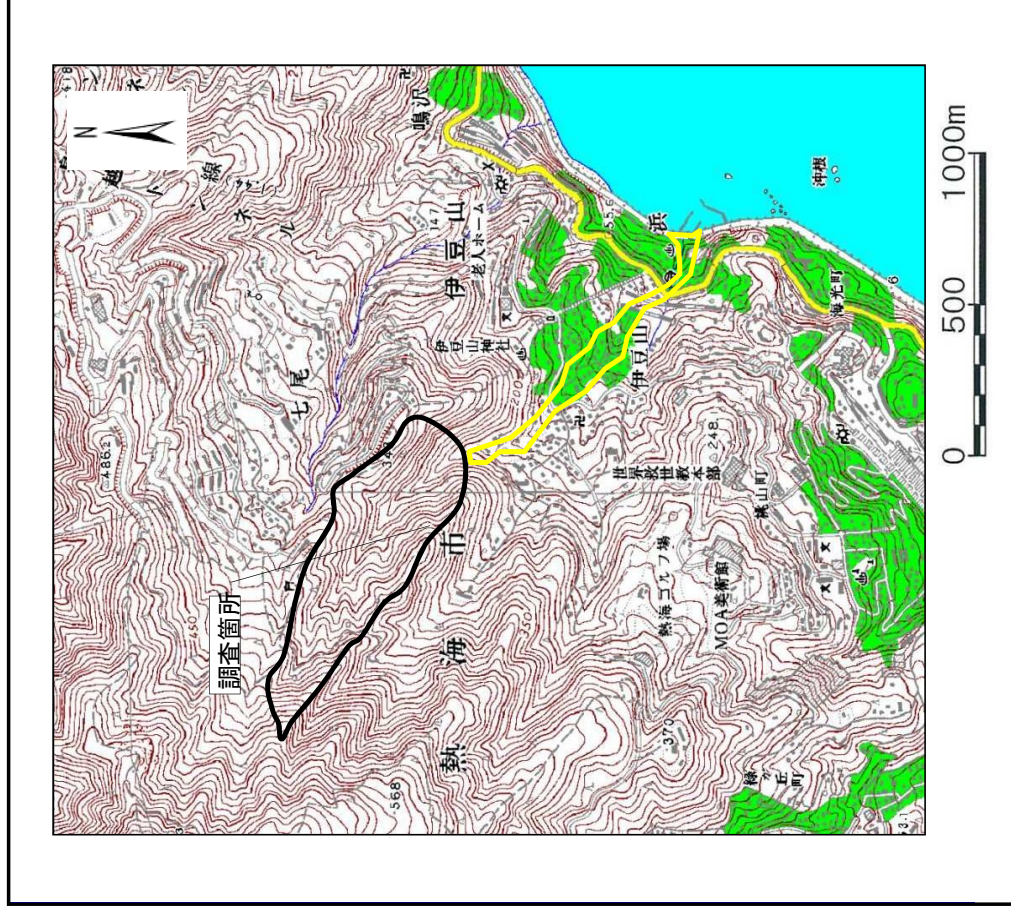


土砂災害防止に関する基礎調査(土石流) 区域調査書

自然現象の種類	土石流
溪流番号	205- I -52
水系名	逢初川
河川名	逢初川
溪流名	逢初川
所在地	静岡県熱海市伊豆山
調査機関	静岡県熱海土木事務所



概要図(S=1:200,000)



位置図(S=1:25,000)

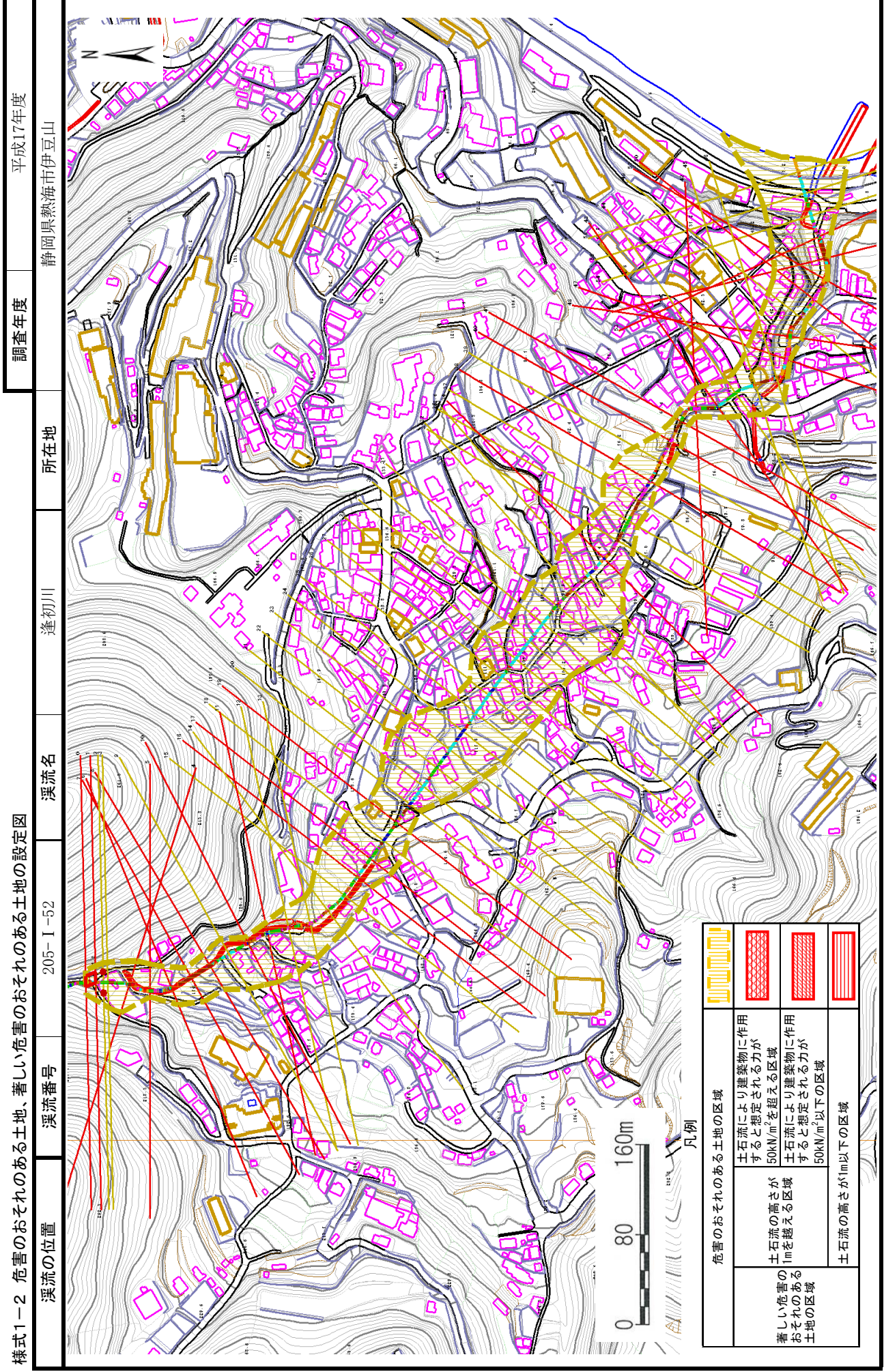
土石流区域調査書

様式 1-1 渓流諸元

調査年度	平成17年度	所在地	静岡県熱海市伊豆山	
205-I-52	逕流名	逢初川	想定土石流流出区間・対策施設位置図	
<p>凡例</p> <p>[谷次数]</p> <ul style="list-style-type: none"> 0次谷 (Red line) 1次谷 (Blue line) 2次谷 (Green line) 3次谷 (Yellow line) 4次谷 (Orange line) <p>基準地点 (Red circle)</p> <p>流域界 (Black line)</p> <p>想定土石流流出区間 (Red double arrow)</p> <p>[対策施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂防えん堤 (Grey trapezoid) 山腹工 (Dashed line) 導流工 (Black arrow) その他の施設 (White rectangle) 施設番号 (Number) 治山ダム (Black trapezoid) 床固工 (Black rectangle) 渓流保全工 (Black rectangle) 				
流域面積(km ²)		0.23		
土石流により流下する土石等の量(m ³)		1,000		
渓流の状況	流域全体	想定土石流流出区間		
	谷次数	区間長 Lme (m)	侵食可能 断面積 Ae (m ²)	
	0次谷	616	189	0.45
	1次谷	331	0	1.00
	2次谷	623	286	3.00
3次谷				
4次谷				
侵食可能土砂量(m ³)		943→1,000		
対策施設の状況	流域全体	想定土石流流出区間		
	対策施設工種	施設数	効果量	
	砂防えん堤	1	0	0
治山ダム	0	0	0	
計	1	0	0	
施設効果を考慮した侵食可能土砂量(m ³)		1,000		
運搬可能土砂量(m ³)		18,740		
算出諸元				
基準地点の地盤勾配(°):θ		9.46		
基準地点における土砂濃度:C _d		0.27		
空隙率:λ		0.40		
計画規模の降雨量(mm):R _r		336		
流出補正係数:fr		0.40		
土質定数				
礫の密度:σ(t/m ³)		2.6		
水の密度:ρ(t/m ³)		1.2		
堆積土砂の内摩擦角:φ(°)		35		
相度係数:n		0.1		
堆積土砂の容積土砂濃度:C _v		0.6		
基準地点より流出する土砂量(m ³)		1,000		

土石流区域調査書

様式1-2 危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地、著しい危害のおそれのある土地の設定図



土 石 流 流 域 区 域 調 査 書

様式1-3-1 危害のおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果(力の算出)

調査年度 平成17年度

渓流の位置		渓流番号	205-I-52	渓流名	逢初川	所在地	静岡県熱海市伊豆山								
横断測線番号	地盤勾配θ(°)	計算勾配θ2(°)	累加距離L(m)	土石流の密度ρd(t/m ³)	土石流の濃度Cd	粗度係数n	土石流により流下する土石等の量V(m ³)	土石流ピーク流量Qsp(m ³ /s)	土石流の流下する幅B(m)	土石流の流下する幅の計算手法	土石流の高さh(m)	土石流の流速U(m/s)	土石流の流体力Fd(kN/m ²)	建築物の耐力P2(kN/m ²)	判定※
No.0	9.5	9.5	0	1.6	0.27	0.1	1000	22.42	9.7	マニング型	0.8	3.24	16.6	10.1	R
No.1	9.0	9.0	9	1.5	0.25	0.1	881	21.22	9.5	マニング型	0.8	3.14	15.3	10.2	R
No.2	9.2	9.2	16	1.6	0.26	0.1	926	21.68	18.6	レゾーム型	0.5	2.44	9.3	14.5	Y
No.3	9.1	9.1	20	1.6	0.26	0.1	918	21.59	18.6	レゾーム型	0.5	2.43	9.2	14.5	Y
No.4	8.6	8.6	40	1.5	0.24	0.1	806	20.48	8.9	マニング型	0.8	3.14	15.2	9.9	Y
No.5	9.7	8.6	60	1.5	0.24	0.1	806	20.48	3.3	マニング型	1.3	4.85	36.0	6.4	Y
No.6	9.2	8.6	80	1.5	0.24	0.1	806	20.48	6.2	マニング型	0.9	3.71	21.1	8.4	Y
No.7	10.5	8.6	100	1.5	0.24	0.1	806	20.48	3.1	マニング型	1.3	5.06	39.2	6.4	Y
No.8	10.3	8.6	120	1.5	0.24	0.1	806	20.48	8.0	マニング型	0.8	3.47	18.4	9.8	Y
No.9	8.4	8.4	140	1.5	0.23	0.1	769	20.11	17.9	レゾーム型	0.5	2.34	8.4	14.4	Y
No.10	9.9	8.4	160	1.5	0.23	0.1	769	20.11	3.2	マニング型	1.3	4.88	36.3	6.4	Y
No.11	9.5	8.4	180	1.5	0.23	0.1	769	20.11	6.1	マニング型	0.9	3.73	21.2	8.6	Y
No.12	9.5	8.4	200	1.5	0.23	0.1	769	20.11	17.9	レゾーム型	0.5	2.43	9.0	14.9	Y
No.13	10.3	8.4	220	1.5	0.23	0.1	769	20.11	17.9	レゾーム型	0.5	2.49	9.4	15.2	Y
No.14	10.9	8.4	240	1.5	0.23	0.1	769	20.11	17.9	レゾーム型	0.5	2.53	9.8	15.5	Y
No.15	9.4	8.4	260	1.5	0.23	0.1	769	20.11	12.4	マニング型	0.6	2.81	12.0	9.2	Y
No.16	10.0	8.4	280	1.5	0.23	0.1	769	20.11	6.9	マニング型	0.9	3.61	19.9	9.2	Y
No.17	9.1	8.4	300	1.5	0.23	0.1	769	20.11	11.4	マニング型	0.7	2.87	12.6	11.6	Y
No.18	8.3	8.3	320	1.5	0.23	0.1	746	19.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.33	8.2	14.4	Y
No.19	10.0	8.3	340	1.5	0.23	0.1	746	19.87	2.8	マニング型	1.4	5.13	39.9	6.2	Y
No.20	9.0	8.3	360	1.5	0.23	0.1	746	19.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.38	8.6	14.7	Y
No.21	8.4	8.3	380	1.5	0.23	0.1	746	19.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.34	8.3	14.5	Y
No.22	9.3	8.3	400	1.5	0.23	0.1	746	19.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.41	8.8	14.9	Y
No.23	8.7	8.3	420	1.5	0.23	0.1	746	19.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.36	8.5	14.6	Y
No.24	8.3	8.3	440	1.5	0.22	0.1	739	19.80	17.8	レゾーム型	0.5	2.32	8.2	14.4	Y
No.25	9.3	8.3	460	1.5	0.22	0.1	739	19.80	17.8	レゾーム型	0.5	2.40	8.8	14.9	Y
No.26	8.4	8.3	480	1.5	0.22	0.1	739	19.80	17.8	レゾーム型	0.5	2.33	8.3	14.5	Y
No.27	8.2	8.2	500	1.5	0.22	0.1	736	19.77	17.8	レゾーム型	0.5	2.32	8.2	14.4	Y
No.28	9.4	8.2	520	1.5	0.22	0.1	736	19.77	17.8	レゾーム型	0.5	2.41	8.8	15.0	Y
No.29	7.8	7.8	540	1.5	0.21	0.1	668	19.09	17.8	レゾーム型	0.5	2.25	7.6	14.5	Y
No.30	7.7	7.7	560	1.5	0.21	0.1	646	18.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.23	7.4	14.6	Y
No.31	8.3	7.7	580	1.5	0.21	0.1	646	18.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.28	7.8	14.8	Y
No.32	8.5	7.7	600	1.5	0.21	0.1	646	18.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.29	7.9	14.9	Y
No.33	8.7	7.7	620	1.5	0.21	0.1	646	18.87	17.8	レゾーム型	0.5	2.31	8.0	15.1	Y
No.34	8.7	7.7	640	1.5	0.21	0.1	646	18.87	6.3	マニング型	0.9	3.51	18.3	8.7	Y
No.35	8.2	7.7	660	1.5	0.21	0.1	646	18.87	17.4	レゾーム型	0.5	2.30	7.9	14.6	Y

※判定には、R:著しい危害のおそれのある土地の区域 Y:危害のおそれのある土地の区域として、RまたはYのどちらかを記入する。

各パラメータ
土石流により流下する土石等の量V(m ³)
1,000
礫の密度σ(t/m ³)
2.6
水の密度ρ(t/m ³)
1.2
堆積土砂の内部摩擦角φ(°)
35
堆積土砂の容積土砂濃度C*
0.6
基準地点の地盤勾配θ(°)
9.46
レゾーム係数α
4
レゾーム累乗係数β
0.5

土 石 流 区 域 調 査 書

様式1-3-2 危害のおおそれのある土地等の区域設定に関する計算結果(土石流の力等)

調査年度 平成17年度

所在地 静岡県熱海市伊豆山

渓流の位置

渓流番号

205- I -52

溪流名

逢初川

所在地

横断測線番号	土石流の高さh(m)	土石流の流体力Fd(kN/m ²)	建築物の耐力P2(kN/m ²)	横断測線番号	土石流の高さh(m)	土石流の流体力Fd(kN/m ²)	建築物の耐力P2(kN/m ²)
No.0	0.8	16.6	10.1	No.27	0.5	8.2	14.4
No.1	0.8	15.3	10.2	No.28	0.5	8.8	15.0
No.2	0.5	9.3	14.5	No.29	0.5	7.6	14.5
No.3	0.5	9.2	14.5	No.30	0.5	7.4	14.6
No.4	0.8	15.2	9.9	No.31	0.5	7.8	14.8
No.5	1.3	36.0	6.4	No.32	0.5	7.9	14.9
No.6	0.9	21.1	8.4	No.33	0.5	8.0	15.1
No.7	1.3	39.2	6.4	No.34	0.9	18.3	8.7
No.8	0.8	18.4	9.8	No.35	0.5	7.9	14.6
No.9	0.5	8.4	14.4	No.36	0.5	8.3	14.9
No.10	1.3	36.3	6.4	No.37	0.5	8.4	15.0
No.11	0.9	21.2	8.6	No.38	0.9	18.8	8.5
No.12	0.5	9.0	14.9	No.39	0.5	8.5	15.1
No.13	0.5	9.4	15.2	No.40	0.7	13.9	11.6
No.14	0.5	9.8	15.5	No.41	0.8	17.4	10.3
No.15	0.6	12.0	12.2	No.42	1.0	25.7	7.8
No.16	0.9	19.9	9.2	No.43	0.9	19.5	9.2
No.17	0.7	12.6	11.6	No.44	0.5	8.6	15.2
No.18	0.5	8.2	14.4	No.45	0.5	8.2	14.8
No.19	1.4	39.9	6.2	No.46	0.6	12.8	12.9
No.20	0.5	8.6	14.7	No.47	1.2	38.7	6.9
No.21	0.5	8.3	14.5	No.48	1.2	43.0	6.8
No.22	0.5	8.8	14.9	No.49	0.5	10.1	16.3
No.23	0.5	8.5	14.6	No.50	0.7	17.7	10.8
No.24	0.5	8.2	14.4	No.51	1.3	42.9	6.7
No.25	0.5	8.8	14.9	No.52	1.2	41.8	6.7
No.26	0.5	8.3	14.5	No.53	0.7	17.0	11.0

土石流区域調査

様式1-5 宅地開発状況等総括表

調査年度		平成17年度														
渓流の位置	渓流番号	205-I-52	所在地													
静岡県熱海市伊豆山																
市町村																
熱海市																
資料名:熱海市統計書																
引用年度:H17~H22																
1)人口の経年変化	都市計画区域内	15年前(人)(ア)	2000	10年前(人)(イ)	2005	5年前(人)(ウ)	2010	基準年(人)(エ)	2010	増減	人口(人)(エ-ウ)	増減	人口(人)(エ-ウ)	増減	率{(エ-ウ)/ウ}×100(%)	率{(エ-ウ)/ウ}×100(%)
	市街化区域	45,920	43,463	2,457	-5%	41,816	-1,647	40,112	-1,704	-4%	-4%	-4%	-4%	-4%		
	市街化調整区域															
資料名:熱海市統計書																
引用年度:H17~H22																
2)都市計画区域の変遷	都市計画区域の面積	15年前(ha)(ア)	1995	2000	2005	5年前(ha)(ウ)	2010	基準年(ha)(エ)	2010	増減	面積(ha)(エ-ウ)	増減	面積(ha)(エ-ウ)	増減	率{(エ-ウ)/ウ}×100(%)	率{(エ-ウ)/ウ}×100(%)
	市街化区域	6,155	6,155	0	0%	6,156	0	6,160	4	0%	0%	0%	0%			
	市街化調整区域															
資料名:静岡県地価調査資料																
引用年度:H18~H23																
3)地価の経年変化	伊豆山字堀城442番地6	5年前(円/m ²)(ア)	2006	2007	2009	2年前(円/m ²)(ウ)	2011	基準年(円/m ²)(エ)	2011	増減	地価(円/m ²)(エ-ウ)	増減	地価(円/m ²)(エ-ウ)	増減	率{(エ-ウ)/ウ}×100(%)	率{(エ-ウ)/ウ}×100(%)
	桜町5-23	60,500	60,000	-500	-1%	59,400	-600	57,600	-1,800	-3%	-3%	-3%	-3%			
	西山町38-5	74,700	74,000	-700	-1%	73,000	-1,000	70,400	-2,600	-4%	-4%	-4%	-4%			
資料名:熱海市統計書																
引用年度:H18~H22																
4)住宅着工件数の状況	一戸建住宅	15~11年前の申請数の合計(件)(ア)	71,800	71,200	-600	-1%	70,200	5~1年前の申請数合計(件)(ウ)	70,200	増減	申請数(件)(ウ-イ)	増減	申請数(件)(ウ-イ)	増減	率{(ウ-イ)/イ}×100(%)	率{(ウ-イ)/イ}×100(%)
	長屋建・共同建	1,209	882	-327	-27%	806	-76	-9%	-9%	-9%	-9%	-9%	-9%			
	合計	1,209	882	-327	-27%	806	-76	-9%	-9%	-9%	-9%	-9%	-9%			
資料名:熱海市統計書																
引用年度:H18~H22																
5)農地転用の状況	住宅	15~11年前の申請数の合計(件)(ア)				5~1年前の申請数合計(件)(ウ)				増減	申請数(件)(ウ-イ)	増減	申請数(件)(ウ-イ)	増減	率{(ウ-イ)/イ}×100(%)	率{(ウ-イ)/イ}×100(%)
	その他															
	合計	219	113	-106	-48%	104	-9	-8%	-8%	-8%	-8%	-8%	-8%			

土石流区域調査

様式1-6 区域の法指定に関する状況

調査年度 平成17年度

渓流の位置	205-I-52	渓流名	逢初川	所在地	静岡県熱海市伊豆山
土石流警戒区域等の重複					
告示年月	告示番号	指定・解除	理由	区域名・箇所名	自然現象の種類
				205-I-053	土石流
				205-I-054	土石流
				205-I-055	土石流
				102-II-0387	急傾斜地の崩壊
				102-I-0505	急傾斜地の崩壊
				102-I-0018	急傾斜地の崩壊
				102-I-0019	急傾斜地の崩壊
				14	地すべり
基礎調査履歴					
回数	調査年月	理由			
1回目	平成17年12月	基礎調査作業として			
砂防指定地					
指定年月日	告示番号	区域名称			
土石流危険渓流					
危険渓流番号	渓流名	種類			
205-I-052	逢初川	危険渓流 I			
砂防基礎図					
空中写真撮影年度	平成14年1月～3月				
図化年度	平成14年度				
種類	砂防GIS基礎図				
図面縮尺	1/2,500				
新規・修正の区分	新規				
準拠ガイドライン名	SFF第6版				
主に災害の防止に関する事項					
法律名	法規制区域・地区	有無			
砂防法	砂防指定地	×			
地すべり等防止法	地すべり防止区域	×			
急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	急傾斜地崩壊危険区域	×			
森林法	保安林	×			
	保安施設地区	×			
建築基準法	災害危険区域	×			
宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域	○			
主に土地の現状に関する事項					
法律名	法規制区域・地区	有無			
統計法	人口集中地区	○			
主に建築や開発の動向に関する事項					
法律名	法規制区域・地区	有無			
都市計画法	市街化区域	×			
	市街化調整区域	×			
	非線引き区域	○			
	準都市計画区域	×			
	離島振興対策実施地域	×			
	過疎地域	×			
	特定地域	×			
	国立公園	×			
	固定公園	×			
	都道府県立自然公園	×			
	緑地保全地区	×			
	原生自然環境保全地域	×			
	自然環境保全地域特別地区	×			

土石流区域調査書

様式1-7 土地利用状況図

調査年度 平成17年度

静岡県熱海市伊豆山

所在地

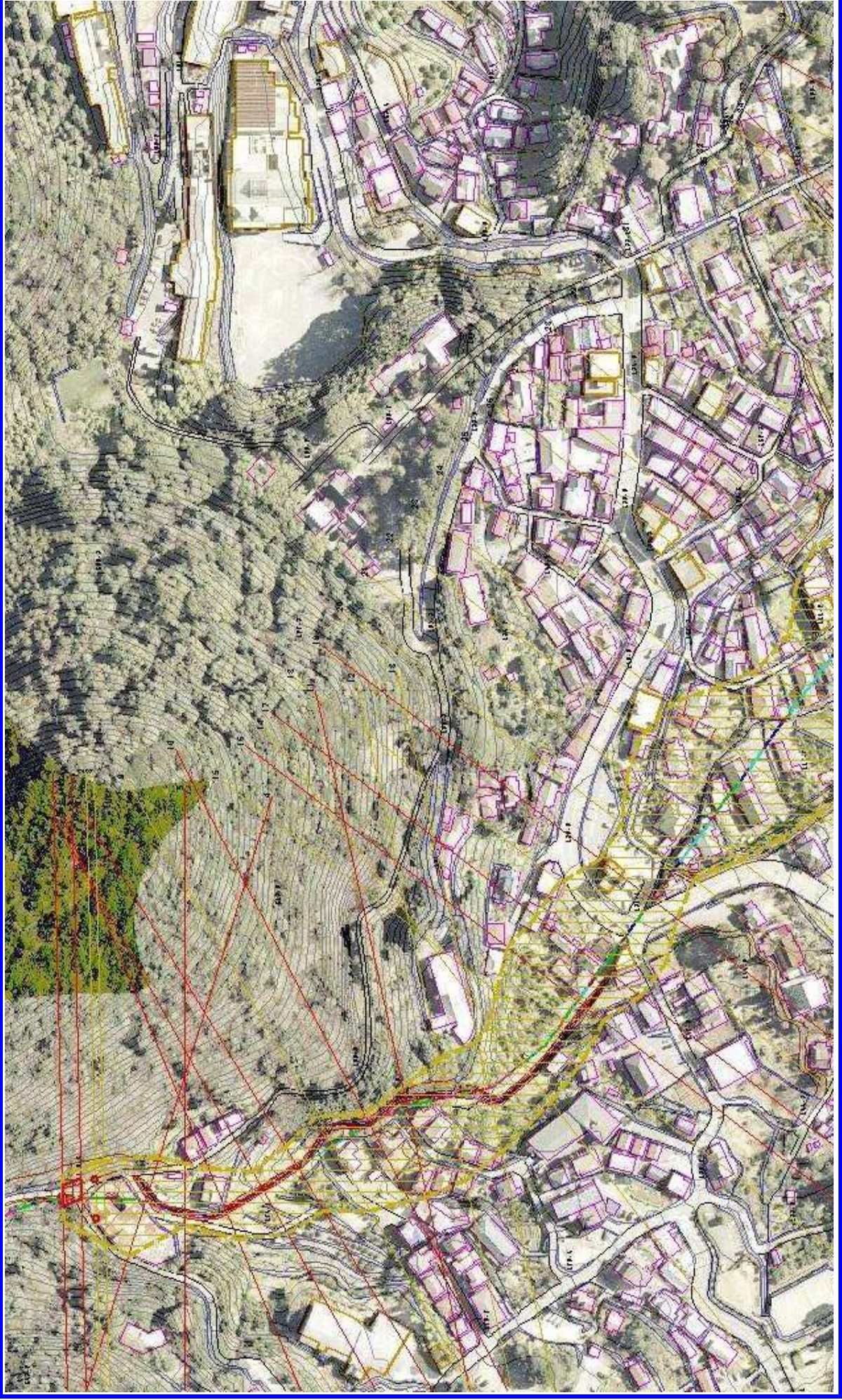
逢初川

溪流名

205-I-52

溪流番号

溪流の位置



土石流区域調査書

様式1-7 土地利用状況図

調査年度 平成17年度

所在地 静岡県熱海市伊豆山

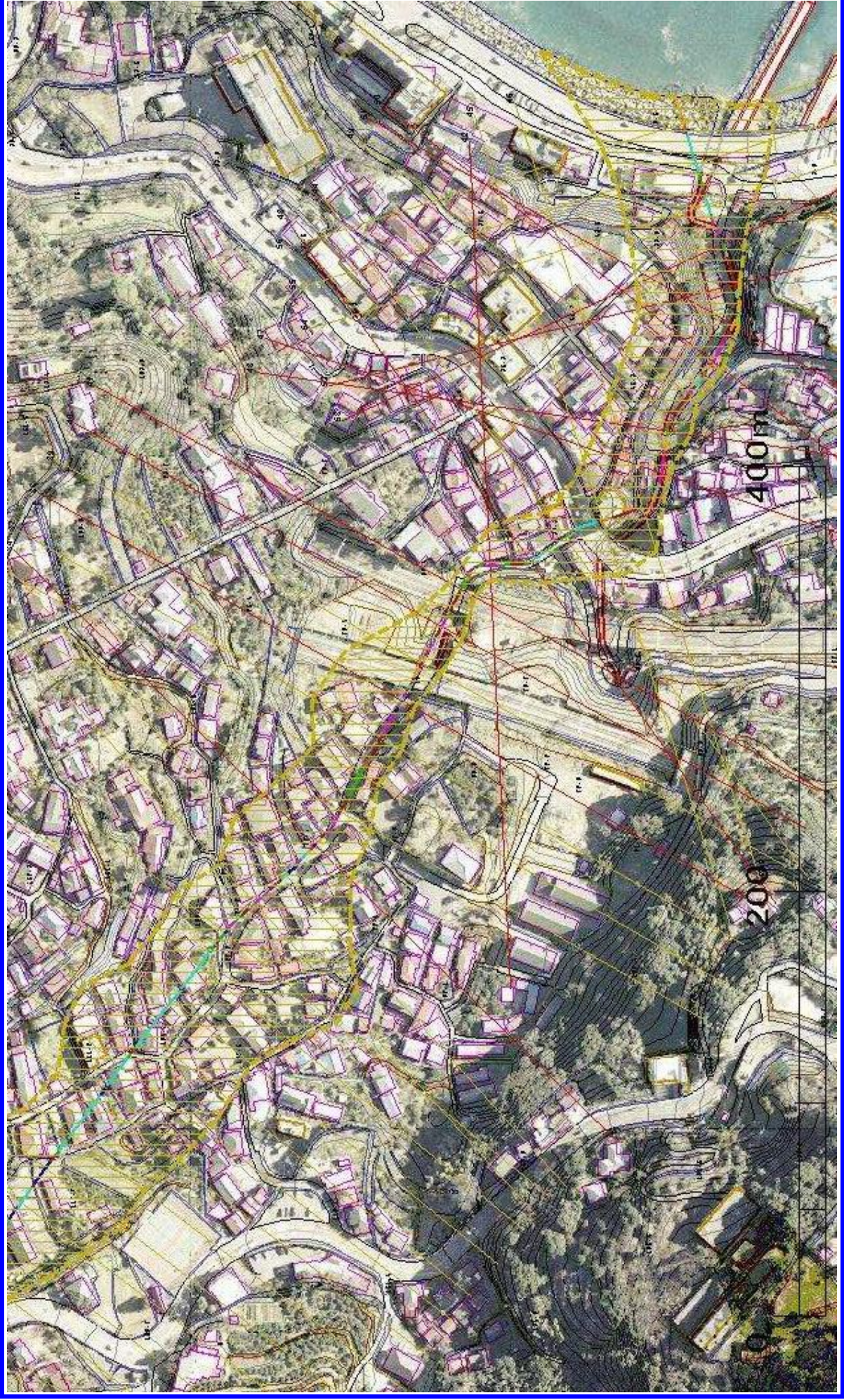
逢初川

205-I-52

溪流番号

溪流名

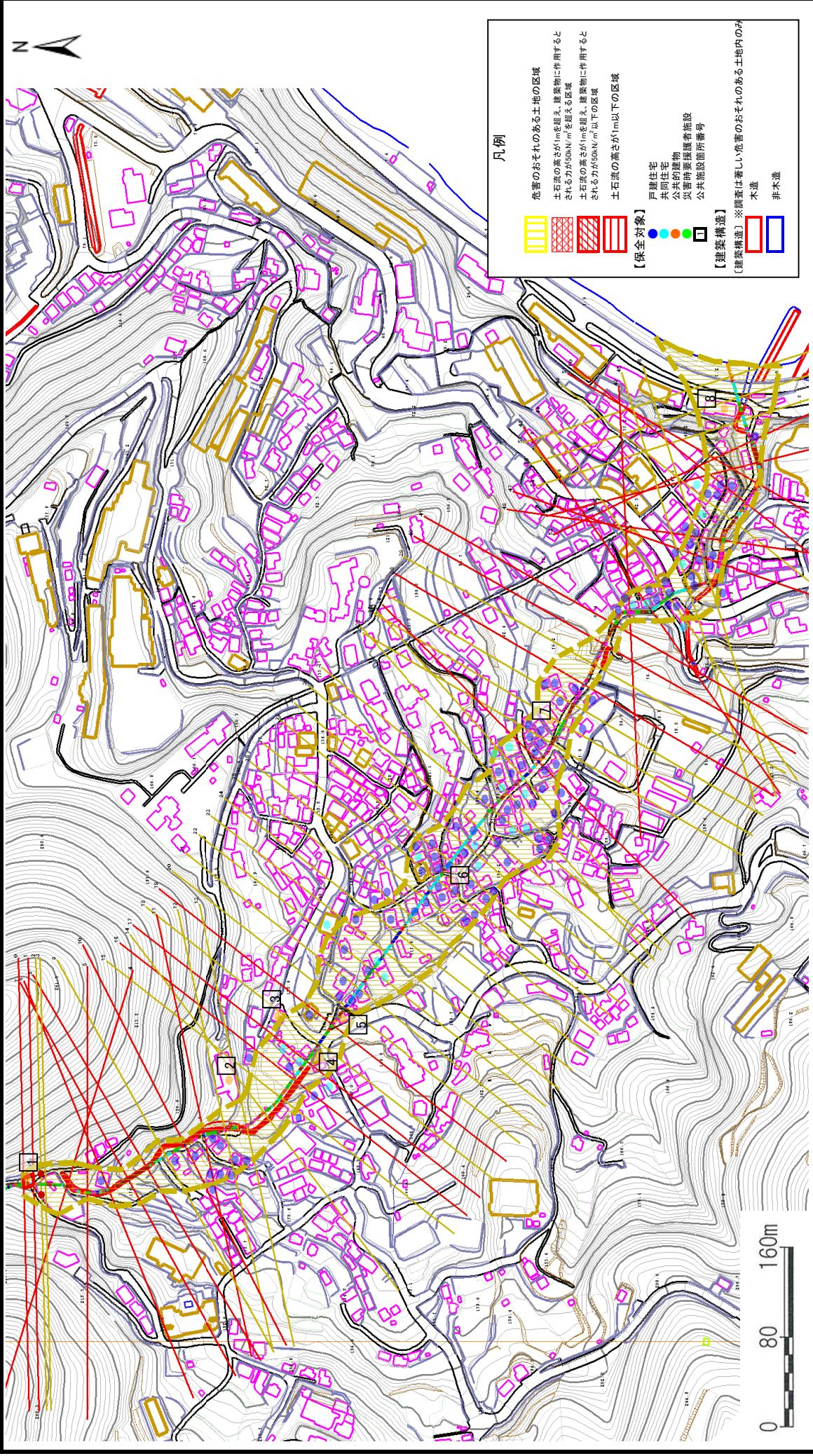
溪流の位置



土石流区域調査

様式1-8 保全対象等施設位置図

溪流番号 205-I-52 溪流名 逢初川 所在地 静岡県熱海市伊豆山 調査年度 平成17年度



土石流区域調査

様式2-2 対策施設及び写真・スケッチ位置図

調査年度 平成17年度

静岡県熱海市伊豆山

所在地

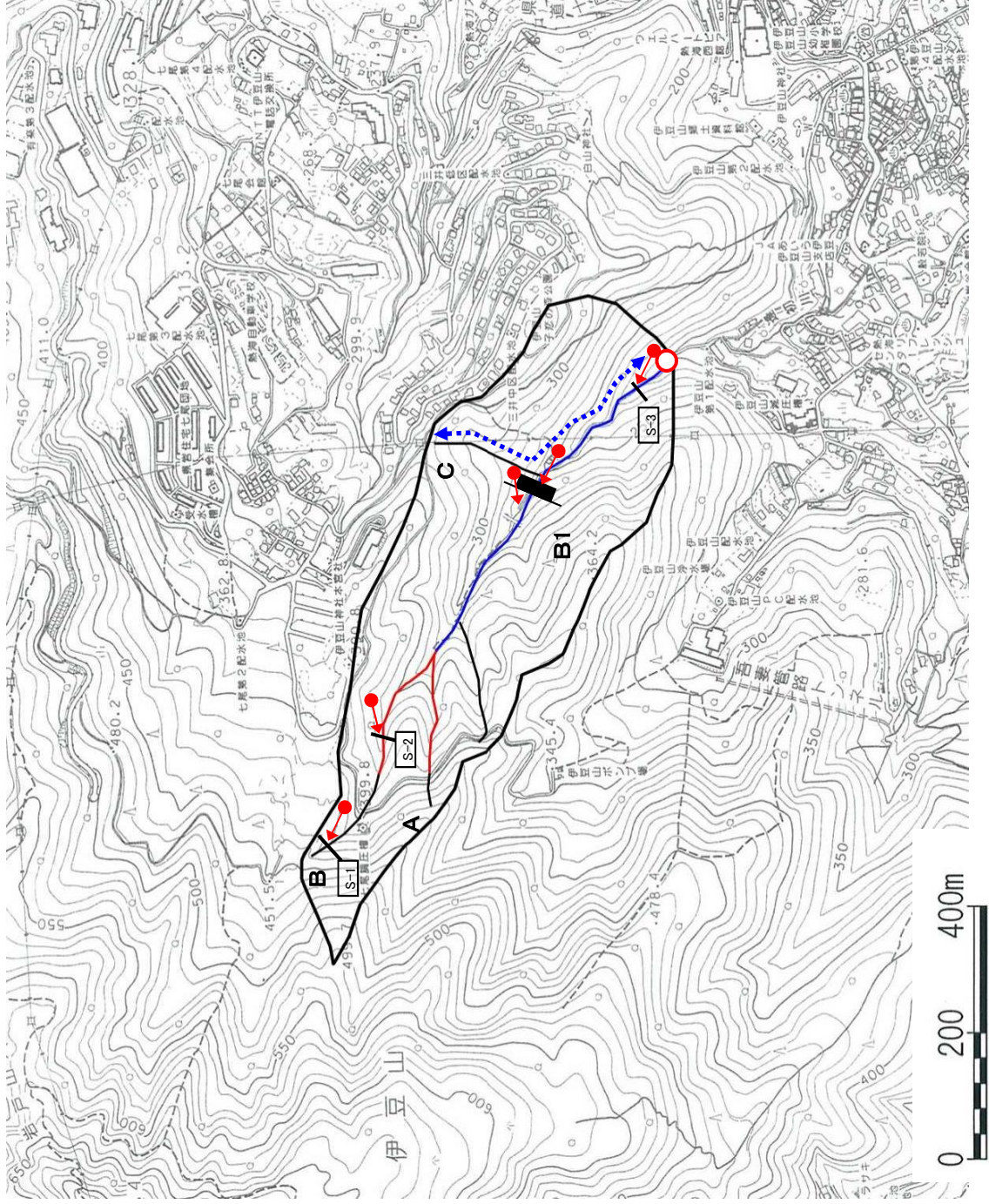
逢初川

溪流名

205-I-52

溪流番号

溪流の位置



凡例

[対策施設]	砂防えん堤	治山ダム	調査地点
山腹工	山腹工	床固工	—
導流工	導流工	溪流保全工	—
その他の施設	その他の施設		
施設番号	施設番号		
[溪流]	基礎地点		
→	想定区間		
[谷次]	谷次	1次谷	
0次谷	2次谷	3次谷	
2次谷	4次谷		
[写真・スケッチ]	撮影方向		写真番号
→	スケッチ番号		

土石流区域調査書

様式2-2 対策施設及び写真・スケッチ位置図

調査年度 平成17年度

所在地 静岡県熱海市伊豆山

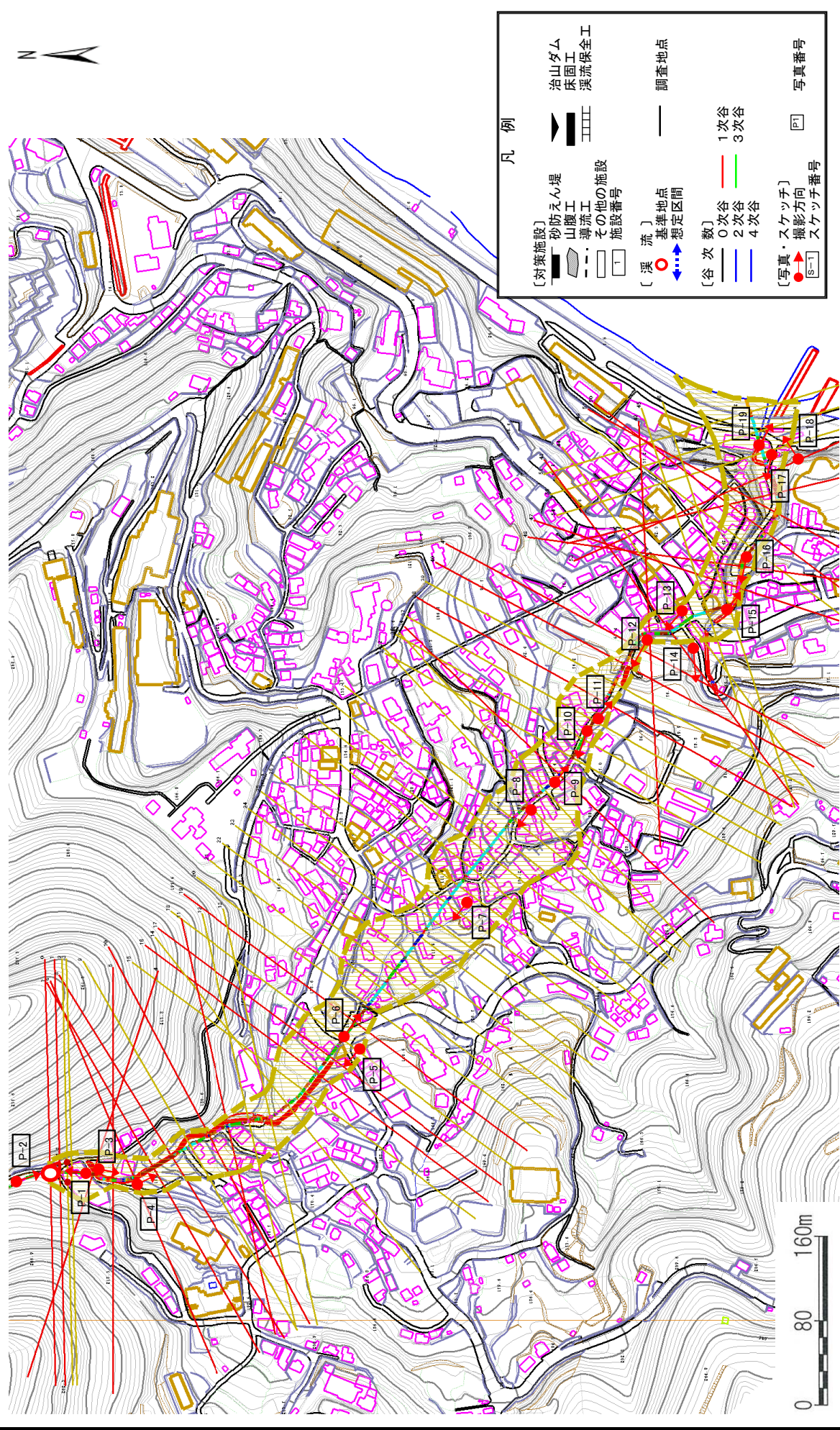
逢初川

溪流名

205-I-52

溪流番号

溪流の位置



土石流区域調査書

様式2-3-2 対策施設効果評価

渓流の位置 対策施設番号	渓流番号	205-I-52 施設名称	渓流名	逢初川	所在地	調査年度	平成17年度
該当無し							

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-3-3 想定土石流流出区間の検討

溪流の位置		205-I-52	逄初川	所在地	調査年度	平成17年度
溪流番号					静岡県熱海市伊豆山	
想定区間番号	A	858	858	836		
想定区間内の 侵食可能土砂量	調査地点番号	施設効果を考慮した 侵食可能土砂量(m ³)		基準地点までの想定区間長(m)		
	渓流長 L (m)	平均侵食幅 B (m)	平均侵食深 De (m)	侵食可能断面積 Ae (m ²)		
	S-1	66	1.5	0.3	0.45	砂防えん堤
	S-2	147	2.0	0.5	1.00	治山ダム
	S-3	623	3.0	1.0	3.00	山腹工
想定土石流流出区間	×	侵食可能土砂量(m ³) (施設効果は考慮せず)		2,046	対策施設総効果量(m ³) 4,200	
想定区間番号	B	858	858	976		
想定区間内の 侵食可能土砂量	調査地点番号	施設効果を考慮した 侵食可能土砂量(m ³)		基準地点までの想定区間長(m)		
	渓流長 L (m)	平均侵食幅 B (m)	平均侵食深 De (m)	侵食可能断面積 Ae (m ²)		
	S-1	169	1.5	0.3	0.45	砂防えん堤
	S-2	184	2.0	0.5	1.00	治山ダム
	S-3	623	3.0	1.0	3.00	山腹工
想定土石流流出区間	×	侵食可能土砂量(m ³) (施設効果は考慮せず)		2,129	対策施設総効果量(m ³) 4,200	
想定区間番号	C	1,000	1,000	475		
想定区間内の 侵食可能土砂量	調査地点番号	施設効果を考慮した 侵食可能土砂量(m ³)		基準地点までの想定区間長(m)		
	渓流長 L (m)	平均侵食幅 B (m)	平均侵食深 De (m)	侵食可能断面積 Ae (m ²)		
	S-1	189	1.5	0.3	0.45	砂防えん堤
	S-2	0	2.0	0.5	1.00	治山ダム
	S-3	286	3.0	1.0	3.00	山腹工
想定土石流流出区間	○	侵食可能土砂量(m ³) (施設効果は考慮せず)		943→1,000	対策施設総効果量(m ³) 0	

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

溪流の位置

溪流番号

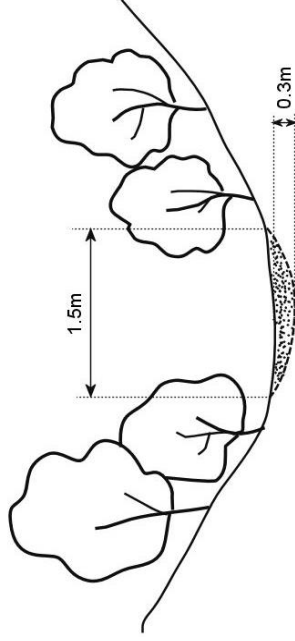
205-I-52

溪流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



谷次数: 0次谷
 平均侵食幅B: 1.50m
 平均侵食深De: 0.30m
 侵食可能断面積Ae: 0.45m²

コメント

0次谷の断面

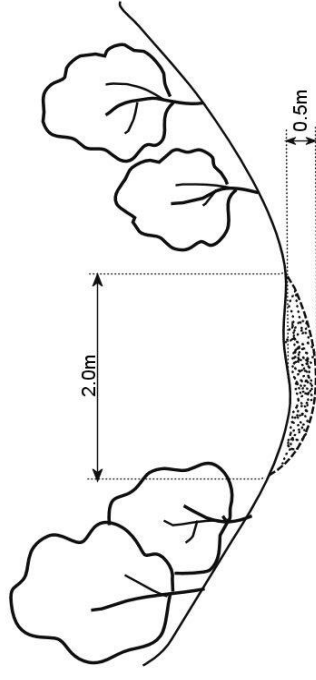
写真・スケッチ番号

S-1



調査年月日

H17.12.8



谷次数: 1次谷
 平均侵食幅B: 2.00m
 平均侵食深De: 0.50m
 侵食可能断面積Ae: 1.00m²

コメント

1次谷の断面

写真・スケッチ番号

S-2





調査年月日

H17.12.8

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等



調査年度 平成17年度

調査年度	平成17年度	所在地	静岡県熱海市伊豆山	
調査位置	逄初川	溪流番号	205-I-52	溪流名
溪流の位置				
写真・スケッチ番号	B1(2)	写真・スケッチ番号	P-1	
コメント	<p style="color: red;">B1は満砂</p>			
コメント	<p style="color: red;">基準点全景(下流側より望む)</p>			
写真・スケッチ番号				
調査年月日	<p style="color: red;">H17.12.8</p>			

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

調査年度	平成17年度	所在地	静岡県熱海市伊豆山	
溪流番号	205-I-52	溪流名	逢初川	
溪流の位置				
写真・スケッチ番号	P-2	写真・スケッチ番号	P-3	
コメント				
コメント	<p style="color: red;">基準点から下流を望む</p>		<p style="color: red;">流線は深い水路沿いを通過する</p>	
調査年月日	調査年月日		調査年月日	
調査年月日	H17.12.8		H17.12.8	

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

溪流の位置

溪流番号

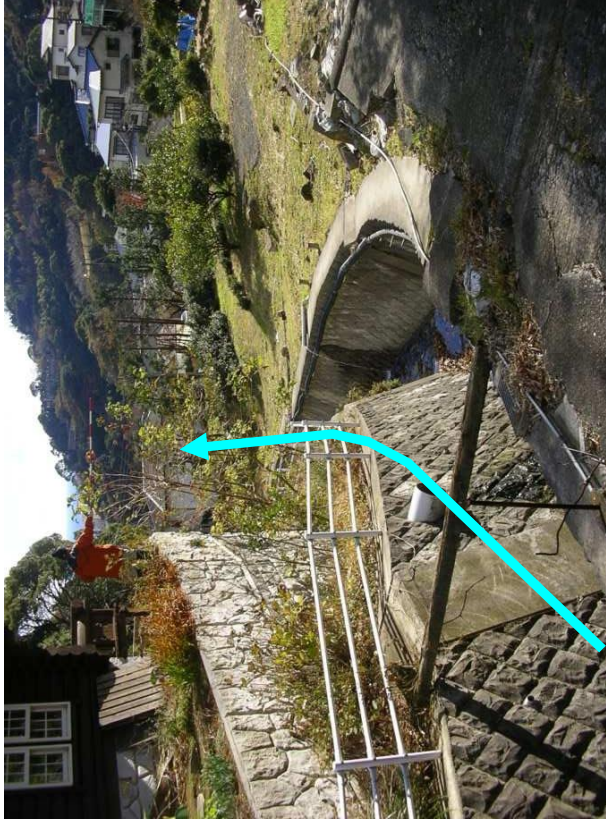
205-I-52

溪流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



コメント

写真・スケッチ番号

P-4

コメント

写真・スケッチ番号

P-5

流線は水路工沿いの谷を通過する

住宅地内の沢地形を流線が通る(上流側を望む)

調査年月日

H17.12.8

調査年月日

H17.12.8

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

溪流の位置

溪流番号

205-I-52

溪流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



コメント

住宅地内の沢地形を流線が通る(下流側を望む)

写真・スケッチ番号

P-6



コメント

住宅地内の谷地形

写真・スケッチ番号

P-7

調査年月日

H17.12.8

調査年月日

H17.12.8

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

調査年度	平成17年度	所在地	静岡県熱海市伊豆山
溪流の位置	溪流番号	溪流名	逢初川
205-I-52			
		写真・スケッチ番号	P-8
コメント	コメント		
流線が道路沿いを通過する(下流側を望む)	流線が掘割状の道路沿いを通過する(下流側を望む)		
調査年月日	調査年月日		
H17.12.8	H17.12.8		

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

渓流の位置

渓流番号

205-I-52

渓流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



コメント

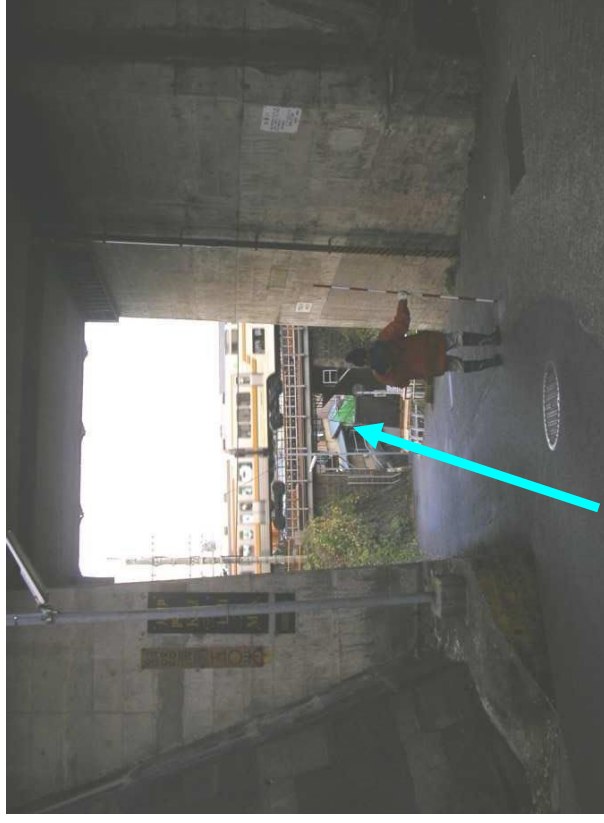
写真・スケッチ番号

P-10

JR新幹線のカルバートから上流側の流線(道路沿い)を望む

調査年月日

H17.12.8



コメント

写真・スケッチ番号

P-11

JR新幹線の盛土(H=11m)のカルバート(4.5m×9m)を土石流が通過する。向こう側は在来線。

調査年月日

H17.12.8

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

溪流の位置

溪流番号

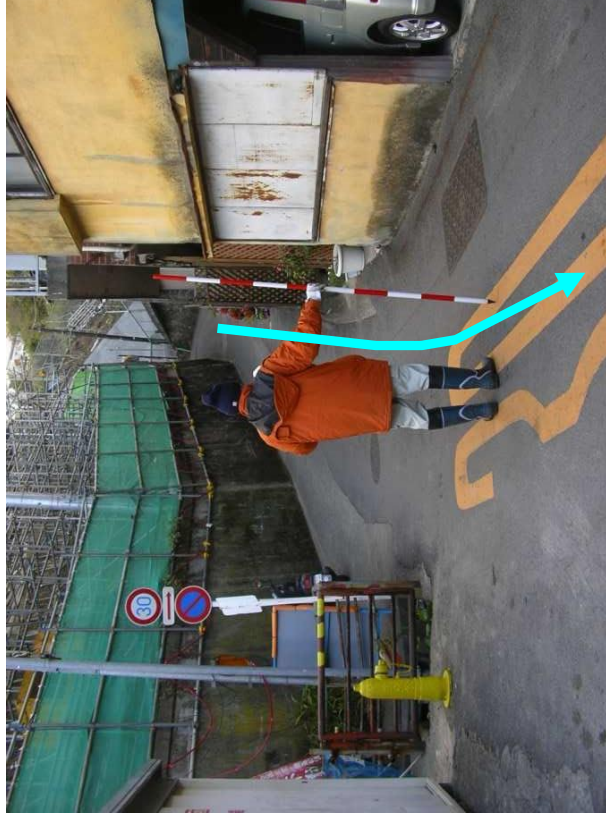
205-I-52

溪流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



コメント

写真・スケッチ番号

P-12

JR在来線の盛土(H=8m)のカルバート(4m×7m)を土石流は通過する。向こう側は新幹線。

調査年月日

H17.12.8

コメント

写真・スケッチ番号

P-13

在来線カルバートを出た流線は掘割状の道路沿いに流下し国道を越え深い谷に入る。

調査年月日

H17.12.8

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

調査年度	平成17年度	所在地	静岡県熱海市伊豆山	
調査位置	逢初川	渓流番号	205-I-52	渓流名
調査位置				
調査位置				
コメント	写真・スケッチ番号	写真・スケッチ番号	コメント	
鉄道の盛土は高く(H=8~10m)土石流はカルバートしか通過できない。	P-14	P-15	国道を越えた深い谷で流線はここに入り込むしかない。	
調査年月日	調査年月日		調査年月日	
H17.12.8	H17.12.8		H17.12.8	

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

渓流の位置

渓流番号

205-I-52

渓流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



コメント

海岸近くの深い谷底の水路工

写真・スケッチ番号

P-16

コメント

海岸付近から流線上流側を望む(深い谷)

写真・スケッチ番号

P-17

調査年月日

H17.12.8

調査年月日

H17.12.8

土 石 流 区 域 調 査 書

様式2-4 現地写真・スケッチ等

調査年度 平成17年度

溪流の位置

溪流番号

205-I-52

溪流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山



コメント

流線が海岸の有料道路下を通過する(カルバート4m×7m)

写真・スケッチ番号

P-18

コメント

流線が海岸に達するところ

写真・スケッチ番号

P-19

調査年月日

H17.12.8

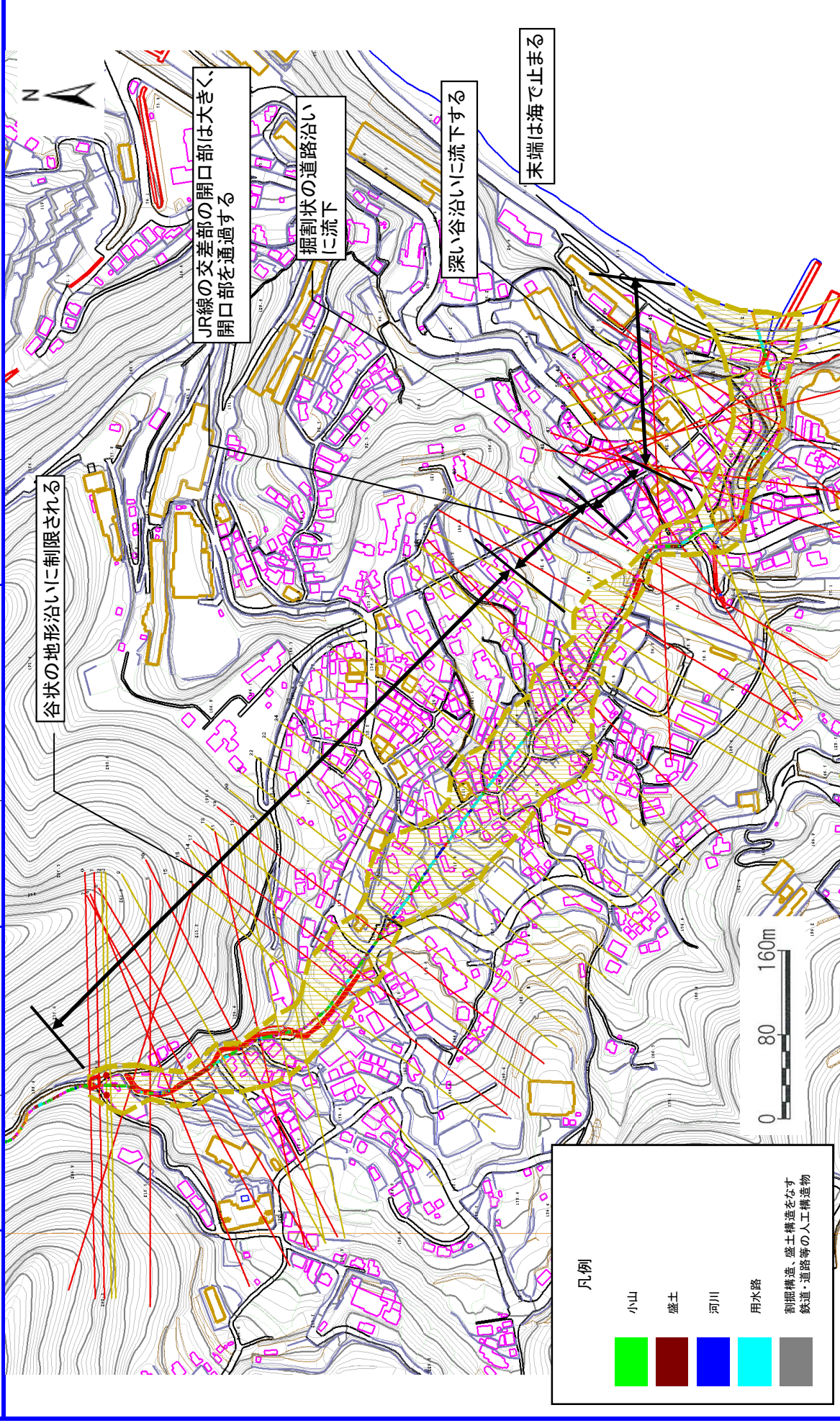
調査年月日

H17.12.8

様式2-5 危害のおそれのある土地等の地形調査結果図

調査年度 平成17年度

溪流の位置 205-I-52 溪流名 逢初川 所在地 静岡県熱海市伊豆山



土石流区域調査書

様式3-1-1 危害のおそれのある土地の区域設定根拠図(基準地点・流下方向)

調査年度	平成17年度				
所在地	静岡県熱海市伊豆山				
逢初川	205-I-52				
溪流名	逢初川				
調査に基づく設定結果(確定)	基準地点及び土石流の流下方向の設定図				
<table border="1"> <tr> <td>基準地点</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>土石流の流下方向</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	基準地点	○	土石流の流下方向	→	<p>基準地点</p> <p>土石流の高さ: 0.8m 危険のおそれがある土地()で採られた範囲 右岸:-10.8m, 左岸:10.9m 著しい危害のおそれがある土地()で採られた範囲 右岸:-3.6m, 左岸:6.1m</p> <p>No. 0 1:2</p> <p>標高 m</p> <p>距離 m</p> <p>遷緩線が現地で認められなかったため、谷出口に設定。 谷出口から谷地形に沿ってほぼ直進させた。</p>
基準地点	○				
土石流の流下方向	→				
基準地点の設定根拠	遷緩線が現地で認められなかったため、谷出口に設定。				
土石流の流下方向の設定根拠	谷出口から谷地形に沿ってほぼ直進させた。				
その他					

土石流区域調査書

様式3-1-2 危害のおそれある土地の区域設定根拠図(測線・末端等)

調査年度 平成17年度

静岡県熱海市伊豆山

所在地

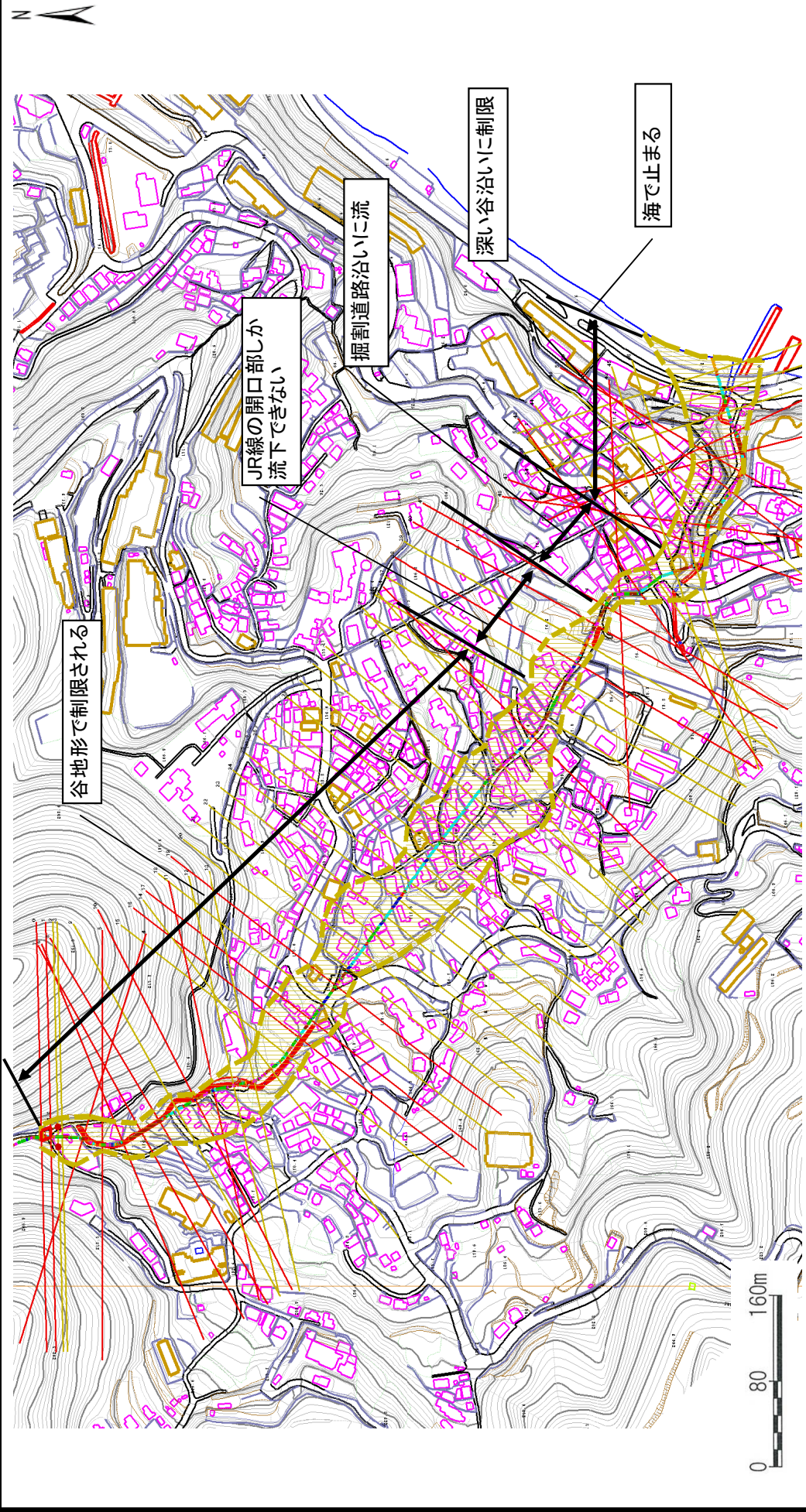
逢初川

溪流名

205-I-52

溪流番号

溪流の位置



横断測線の設定根拠
基本的に20mピッチとし、屈曲部で横断測線を追加した。

危害のおそれある土地の区域設定根拠

その他

土石流区域調査書

様式3-2 縦断面

調査年度 平成17年度

溪流の位置

溪流番号

205-I-52

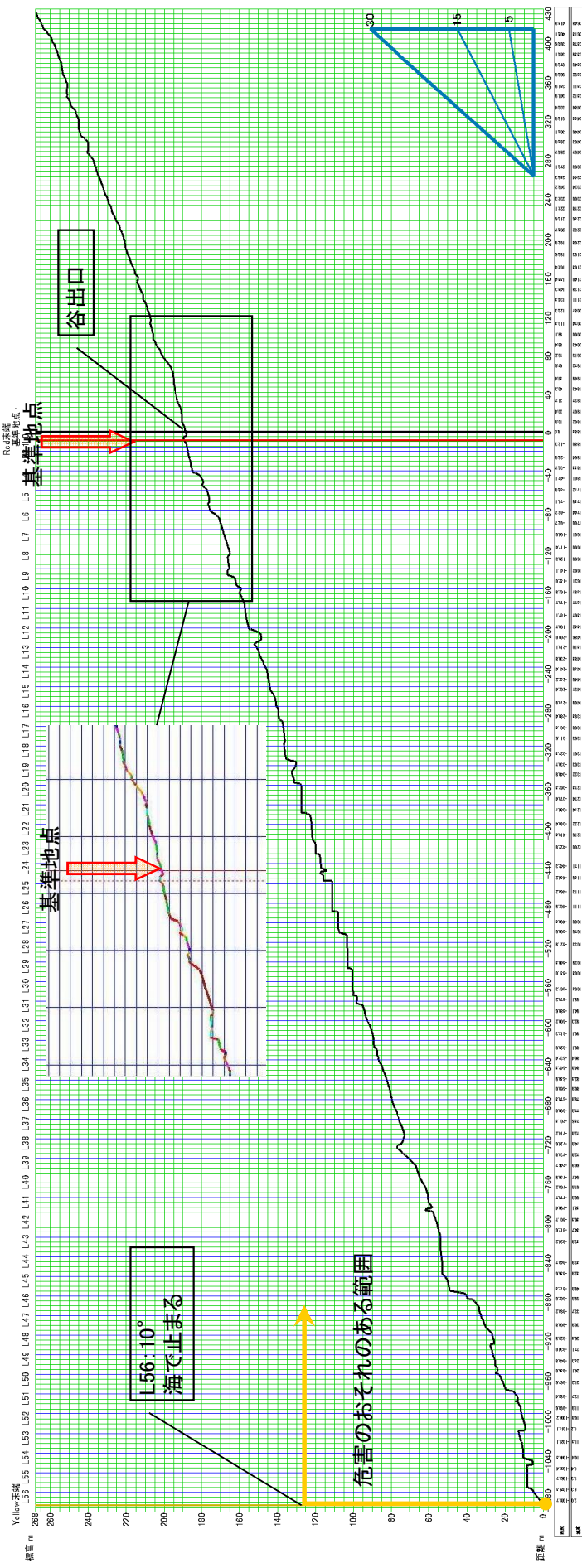
溪流名

逢初川

所在地

静岡県熱海市伊豆山

縦断面 12



土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

横断測線番号	NO.0	渓流の位置	205-I-52	逢初川	所在地	静岡県熱海市伊豆山	
横断測線番号	NO.1	横断測線番号	NO.2	横断測線番号	NO.3		
No. 0 1:2 土石流の高さ: 0.8m 危険のおそれがある土地() 著しい危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸: -10.8m, 左岸: 10.8m で狭まれた範囲 右岸: -3.8m, 左岸: 6.1m	No. 1 1:2 土石流の高さ: 0.7m 危険のおそれがある土地() 著しい危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸: -16.0m, 左岸: 14.1m で狭まれた範囲 右岸: -0.6m, 左岸: 6.0m	No. 2 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸: -20.0m, 左岸: 16.7m	No. 3 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸: -22.3m, 左岸: 17.2m				
標高 m 208 200 188 距離 m -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 204	標高 m 207 200 187 距離 m -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 204	標高 m 206 200 186 距離 m -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 204	標高 m 205 200 185 距離 m -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 204				
横断測線番号	NO.1			横断測線番号	NO.3		

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

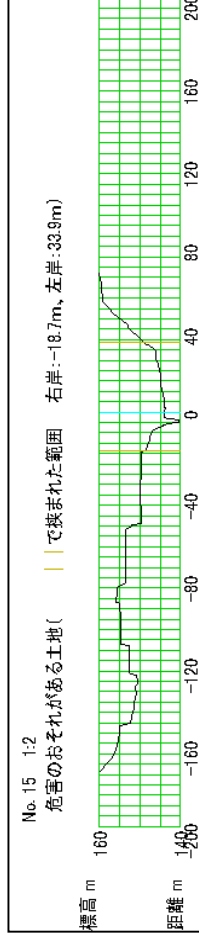
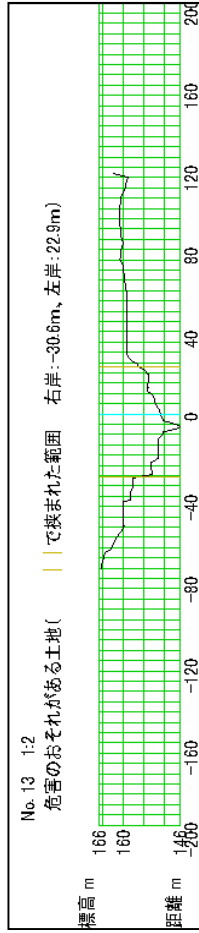
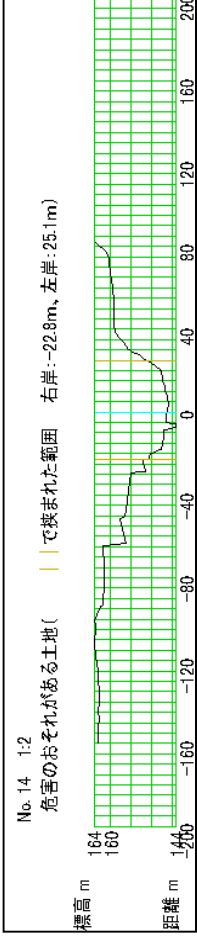
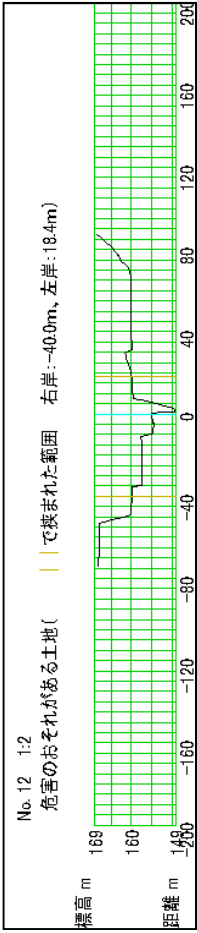
横断測線番号	溪流番号	溪流名	逢初川	所在地	調査年度
NO.8	205-I-52		NO.10	静岡県熱海市伊豆山	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>No. 8 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-23.9m、左岸:11.7m)</p> <p>標高 m 185 180 165 距離 m -200 -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 200</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>No. 10 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-40.7m、左岸:5.6m)</p> <p>標高 m 177 160 150 距離 m -200 -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 200</p> </div> </div>					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>No. 9 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-35.4m、左岸:15.4m)</p> <p>標高 m 179 166 160 距離 m -200 -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 200</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>No. 11 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-44.2m、左岸:9.5m)</p> <p>標高 m 173 160 153 距離 m -200 -160 -120 -80 -40 0 40 80 120 160 200</p> </div> </div>					
NO.9			NO.11		

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

横断測線番号	NO.12	渓流の位置	205-I-52	渓流名	逢初川	所在地	静岡県熱海市伊豆山
横断測線番号	NO.14						
横断測線番号	NO.13						
横断測線番号	NO.15						



土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度		平成17年度	
所在地		静岡県熱海市伊豆山	
逢初川		NO.18	
横断測線番号		NO.18	
渓流の位置		205-I-52	
渓流番号		NO.16	
横断測線番号		NO.16	
No. 16 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-15.5m, 左岸:42.2m)		No. 18 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-23.2m, 左岸:40.2m)	
<p>標高 m 距離 m</p>	<p>標高 m 距離 m</p>		
No. 17 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-22.7m, 左岸:40.1m)		No. 19 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-14.6m, 左岸:31.5m)	
<p>標高 m 距離 m</p>	<p>標高 m 距離 m</p>		
横断測線番号		NO.17	
横断測線番号		NO.19	

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

横断測線番号	溪流番号	溪流名	逢初川	所在地	調査年度
NO.20	205-I-52		NO.22	静岡県熱海市伊豆山	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>No. 20 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-10.4m, 左岸:33.8m)</p> <p style="text-align: center;">標高 m 距離 m</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>No. 21 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-21.9m, 左岸:45.4m)</p> <p style="text-align: center;">標高 m 距離 m</p> </div> </div>					
横断測線番号			横断測線番号		
NO.21			NO.23		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>No. 22 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-31.6m, 左岸:50.7m)</p> <p style="text-align: center;">標高 m 距離 m</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>No. 23 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-39.1m, 左岸:47.9m)</p> <p style="text-align: center;">標高 m 距離 m</p> </div> </div>					
横断測線番号			横断測線番号		

土 石 流 流 区 域 調 査 書

様式3-3 横断面

調査年度		平成17年度	
調査地点		静岡県熱海市伊豆山	
断面位置	断面番号	所在河川	所在地
205-I-52	NO.24	逢初川	NO.26
<p style="text-align: center;">横断測線番号</p> <p style="text-align: center;">NO.24</p>		<p style="text-align: center;">横断測線番号</p> <p style="text-align: center;">NO.26</p>	
No. 24 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-46.0m、左岸:34.6m)			
No. 25 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-43.8m、左岸:24.9m)			
No. 26 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-48.3m、左岸:22.6m)			
No. 27 1:2 危険のおそれがある土地() で狭まれた範囲 右岸:-50.5m、左岸:34.2m)			
横断測線番号	NO.25		
横断測線番号	NO.27		

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度		平成17年度	
調査位置		静岡県熱海市伊豆山	
渓流の位置	渓流番号	逢初川	所在地
	205-I-52		
横断面測線番号		横断面測線番号	
NO.28		NO.30	
横断面測線番号		横断面測線番号	
NO.29		NO.31	
<p>No. 28 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-50.4m、左岸:-37.0m)</p> <p style="font-size: small;">標高 m 距離 m</p>	<p>No. 30 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-56.3m、左岸:-26.7m)</p> <p style="font-size: small;">標高 m 距離 m</p>		
<p>No. 29 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-48.5m、左岸:-27.0m)</p> <p style="font-size: small;">標高 m 距離 m</p>	<p>No. 31 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-67.9m、左岸:-30.2m)</p> <p style="font-size: small;">標高 m 距離 m</p>		

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

横断測線番号	NO.32	渓流の位置	205-I-52	逢初川	所在地	静岡県熱海市伊豆山
No. 32 1:2 危険のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-65.1m, 左岸:25.0m						
横断測線番号						
No. 34						
No. 34 1:2 危険のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-23.6m, 左岸:34.2m						
横断測線番号						
NO.35						
No. 35 1:2 危険のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-16.3m, 左岸:32.5m						
横断測線番号						
NO.33						
No. 33 1:2 危険のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-46.6m, 左岸:36.5m						

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

横断測線番号	溪流番号	溪流名	逢初川	所在地	調査年度
NO.36	205-I-52			静岡県熱海市伊豆山	平成17年度
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>No.36 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-9.4m、左岸:26.1m)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>No.37 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-11.8m、左岸:37.7m)</p> </div> </div>					
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>No.38 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-6.8m、左岸:35.4m)</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>No.39 1:2 危害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-10.0m、左岸:28.5m)</p> </div> </div>					
横断測線番号		NO.38			
横断測線番号		NO.39			

土石流区域調査書

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

渓流の位置		渓流番号	渓流名	逢初川	所在地
横断測線番号	No.44	205-I-052		逢初川	静岡県熱海市伊豆山
横断測線番号	No.45				No.46
横断測線番号	No.46				No.47

<p>No. 44 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-23.4m、左岸:13.8m)</p> <p>標高 m 70 60 距離 m</p>	<p>No. 46 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-21.7m、左岸:-52.8m)</p> <p>標高 m 75 65 55 45 距離 m</p>
<p>No. 45 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-27.5m、左岸:29.9m)</p> <p>標高 m 70 60 50 距離 m</p>	<p>No. 47 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-3.0m、左岸:36.8m)</p> <p>標高 m 60 50 40 距離 m</p>

土石流区域調査

様式3-3 横断面

調査年度 平成17年度

横断測線番号	渓流の位置	渓流番号	渓流名	逢初川	所在地
No.48		205-I-052		No.50	静岡県熱海市伊豆山
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>No. 48 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-11.3m、左岸:32.4m)</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>No. 50 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-5.5m、左岸:45.3m)</p> </div> </div>					
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>No. 49 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-5.6m、左岸:36.3m)</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>No. 51 1:2 危害のおそれがある土地()で挟まれた範囲 右岸:-2.6m、左岸:54.7m)</p> </div> </div>					
横断測線番号		No.49			
横断測線番号		No.51			

土石流区域調査

様式3-3 横断面

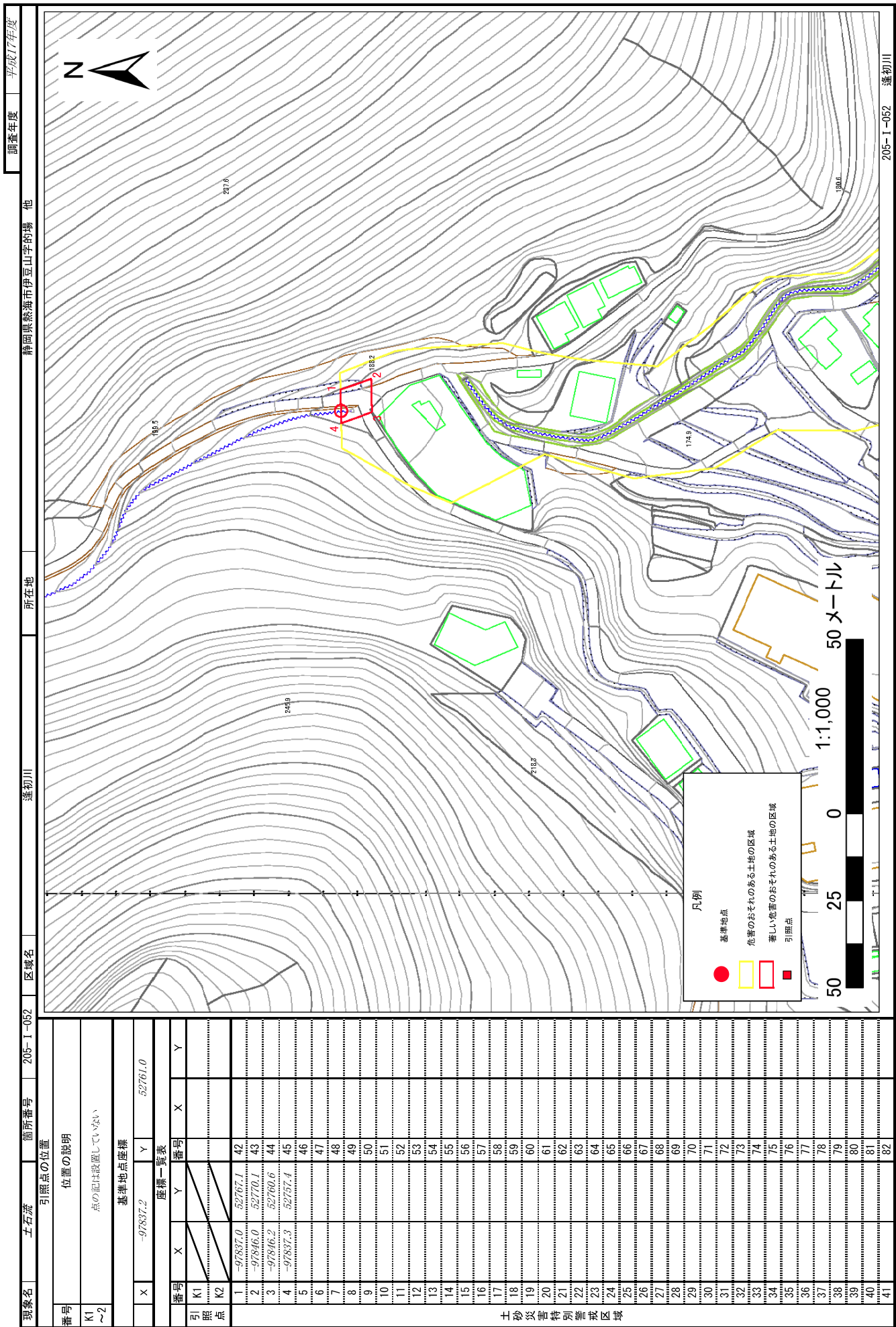
調査年度		平成17年度	
調査位置		静岡県熱海市伊豆山	
横断測線番号	溪流番号	横断測線番号	溪流番号
NO.52	205-I-52	NO.54	205-I-52
No. 52 1:2 災害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-2.1m, 左岸:48.0m)		No. 54 1:2 災害のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-25.2m, 左岸:40.5m)	
横断測線番号	NO.53	横断測線番号	NO.55

土石流区域調査書

様式3-3 横断面図

調査年度		平成17年度	
所在地		静岡県熱海市伊豆山	
横断測線番号	逢初川	溪流名	205-I-52
横断測線番号	NO.56		
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;"> <p>No.56 1:2 危険のおそれがある土地()で狭まれた範囲 右岸:-30.5m、左岸:40.9m</p> </div> <div style="width: 65%;"> </div> </div>			
横断測線番号	横断測線番号		

土砂災害特別警戒区域表示図



調査年度 平成17年度
 静岡県熱海市伊豆山字的場 他
 逢初川
 区域名
 205-I-052
 箇所番号
 土石流
 引照点の位置
 位置の説明
 点の記号は読取してはいない
 基準地点座標
 X Y
 -97837.2 52761.0
 座標一覧表
 番号 X Y X Y
 引照点
 K1
 K2
 1 -97837.0 52767.1 42
 2 -97846.0 52770.1 43
 3 -97846.2 52760.6 44
 4 -97837.3 52757.4 45
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 土砂災害特別警戒区域
 205-I-052 逢初川 静岡県